

栄養士より

日中はまだ暑さの残る日もありますが、朝夕の風は秋の気配を感じさせるようになりました。夏の日差しを浴びた子どもたちはたくましく、一回り大きくなった感じがします。
これから秋本番が始ります。お散歩やお出かけで秋を見つけるのも楽しいですね。
食べ物もおいしい季節になります。旬の食べ物を沢山食べて元気に過ごしたいですね。
また、この時期は睡眠、休養、栄養をいつもより十分にとって体調に注意していきましょう。



偏食改善の支援(聴覚編)

子どもの中には、泣き声や金属音など特定の強い音、集団の騒然とした音に対して、強い不安行動を示す場合があります。家庭では食べられていても、集団生活になるとほかの子どもが泣いたり、話したりする声が多いと、必要な音だけを拾えない子どもにとっては雑音がひどく食事に集中できない場合もあります。状態に合わせてながら集団生活に適応できる支援を行う必要があります。

○にぎやかな場所が苦手(大人数で食事をすると、周囲の音に反応して食事に注意できない子)

- ・子どもが安心して食事ができる環境を用意します。静かな別室で食事を提供します。
食べられるようになってからほかの子どもと同じ部屋の少し離れた場所で食べさせるなど徐々に近づけていきます。

・ほかの子どもより早く食事を始めると、後からほかの子どもが食べ始めて周囲がうるさくなくても気にせずに落ち着いて食べられる場合もあります。

・言葉の理解ができる子どもであれば、音の原因を説明すると気持ちを切り替えて食事に向ってくれることがあります。

例えば泣き声に反応する子どもの場合、「○○ちゃん泣いているね」「何が嫌だったのかな」などと声をかけてあげるといい場合もあります。

☆対応を実施しても音に慣れることが難しい様子であれば、イヤーマフの使用も検討してください。

